演題名（症例報告用）

氏名１(PT)1）、氏名２(OT)1)、氏名３(Nrs)2)、氏名４(Dr)1)

１）○○病院リハビリテーション科、２）同看護局

キーワード：理学療法、作業療法、シーティング

抄録執筆要綱

抄録はそのまま印刷可能な状態のデータでご送付の場合のみを受け付けます。PDF形式のデータと元原稿（Word等）のデータを同時にお送りください。なお、編集、印刷の段階でPDFデータに不具合があった際は、元原稿を使用させていただきます。その場合でもレイアウト等はPDF原稿に準じさせていただきます。 送付の方法は、電子メール添付でお願いいたします。

抄録本文の制限文字数は1500文字です。本様式を用いてA4で1枚に収まるようにタイトルや所属名の調整をお願いいたします。【はじめに】【症例紹介・初期評価】【倫理】【介入内容・介入結果】【考察・結語】の様式に則って抄録を作成してください。各項目の必要内容は本要綱の最後に記載してあります。

演題名は最初のページの第１行中央に、本文よりも少し大きい文字（14ポイント）でMSゴシック体にて記入して下さい．所属・著者名・職種は、表題から１行空け、適宜右に寄せて10ポイントでMS明朝体にて書いて下さい。著者が複数の場合は、発表者を先頭にして下さい。発表に際しては、著者間での検討を十分に行ってください。著者がシーティング・コンサルタントに認定されている場合は氏名の前に「」マークを記してください。

　キーワードを3語（日本語）、発表者の行から１行空けて10ポイントでMS明朝体にてお書きください。本文は、10ポイントでキーワードの行から1行空けて書き出してください。本文のフォントは文章にはMS明朝体を、見出しなど目立たせたい箇所にはMSゴシックを推奨します。文体は「である」調でお願いします。

写真と図表は今回の抄録では使用できません。

この文書は、推奨設定で作っています。コピー／別名で保存するなどして、雛型としてお使い下さい。

抄録集の版権は、日本シーティング・コンサルタント協会にあります。ご了承ください。

ご質問等は、下記までお願いします。

第19回日本シーティングシンポジウム演題受付係

endai@seating-consultants.org

以下各項目の必要内容です。

【はじめに】症例の背景と経緯、報告の発端と動機、目的と意義などについて記載してください。

【症例紹介・初期評価】症例紹介、初期評価を記載してください。評価についてはマット評価、Hoffer座位能力分類（JSSC版）、ズレ度（JSSC版）、痛みの評価、車椅子5m駆動時間計測（JSSC版）、姿勢計測などの中で、行ったものを入れてください。介入の目的、目標もここに記載してください。

【倫理】倫理委員会の承認を得た場合は承認番号を記載してください。

対象者またはご家族へ研究の目的、方法および発表する旨について説明し、同意を得たことを本文中に記載してください。

【介入内容・介入結果】介入内容、経過を入れてください。介入結果として初期評価から変化があった部分の評価を記載してください。

【考察・結語】考察とまとめを記載してください。